

広報おうしゅう
お知らせ版

東京2020パラリンピック

「奥州市の火」名称を募集

今年はいよいよ東京2020オリンピック・パラリンピック大会が開催されます。本市では、8月にパラリンピック聖火の採火式を開催するに当たり「奥州市の火」の名称を公募します。

各自治体の「火」が
パラリンピックの聖火に

東京2020大会は「復興オリンピック・パラリンピック」として位置付けられています。被災地岩手から日本全国、そして世界へ向けて、復興への希望と復興支援に対する感謝のメッセージを伝えるため、住民が自らの手でパラリンピックを象徴する聖火を採火することとなりました。

国内の各自治体で住民が採火した火を都道府県ごとに集め、東京でイギリスのストーク・マンデビルの火の一つにし、パラリンピックの聖火となります。

奥州市らしい火の名称を募集

本市では、8月に採火式を開催するに当たり、そこで採火される「奥州市の火」の名称を募集します。

パラリンピック聖火リレーのコンセプトは「Share Your Light あなたは、

きっと、誰かの光だ」。社会の中で誰かの希望や支えとなっている多様な光（人）が集まり、出会うことで共生社会を照らす力にしようという思いを表現しています。このコンセプトから連想するもの、復興への願いを込めたものなど、皆さんの思いを込めた奥州市らしい名称をお待ちしています。

■応募方法

①火の名称、②命名の理由、③氏名、住所、年齢、電話番号（児童・生徒は氏名、学校名、学年）を明記の上、郵送、ファクスまたはメールで応募

■留意点

・応募数は何点でも可
・応募様式は任意

■応募期限 3月13日（金）

■問い合わせ・応募先

本庁福祉課（☎34-2324、TEL 023-8501※住所記載不要、FAX 51-2373、✉fukushi@city.osu.iwate.jp）

パラリンピック聖火リレーとは？

パラリンピック発祥の地、イギリスのストーク・マンデビルと、開催国内の複数個所で採火される火を開催都市（今回は東京）で一つにして聖火とし、リレーを行います。※東京2020パラリンピックの聖火リレーは競技開催都市で行われるため、奥州市内では行われません。

聖火が生まれるまでの流れ

1 採火

聖火リレーのための炎の誕生を「採火」と呼びます。日本各地で行われるパラリンピックを応援するイベントで採火を行います。

2 出立

各地で生まれた炎が東京に向けて出発することを「出立」と呼びます。47都道府県の炎が、東京で一つの炎として集火されます。

3 誕生

全国から集火された炎は、ストーク・マンデビルからの炎と共に一つとなり、聖火が誕生します。そして、東京2020パラリンピック開会に向けて聖火リレーが実施されます。